

これまでのイメージを破った多収品種！

マンモスイタリアンA B

イタリアンライグラス

マンモスイタリアンA

特 性

4倍体系統の中から選ばれた優良品種。極晩生で、葉茎巨大であり、再生力も旺盛。このため収量は極めて多い。耐寒性強く、雪ぐされにもかなり耐える。また越夏性も良好のため、暖地秋まきでは翌年秋まで充分利用できます。長期利用型品種。

春まきの場合は、その年は出穂せず、青刈利用の他に短年の集約的な放牧用としても有効です。

利 用

●暖地の秋まき

水田裏作用、畑地における周年利用。草地への混播用。

マンモスイタリアンB

特 性

4倍体系統の中から選ばれた優良品種。早生系で、葉茎巨大であり、初期生育が早い。刈取後の再生も旺盛で多収です。

主に寒地の春まきに適するが、短期利用、早期利用として、秋まきも行われています。短期利用型品種。

利 用

●暖地の秋まき

田畑の裏作用、草地への混播用。

●寒暖地の春まき

草地への混播又は追播用、秋作物の前作用。

ワセヒカリ

特 性

農林省畜産試験場で育成した系統(那系3号)で、極早生品種。

草丈はやや低いが、分けつ多い。晩秋および早春の伸長著しく、早期利用で真価を發揮します。雪ぐされ病に弱く、また寒さにも弱いので、多雪地帯や高冷地以外の暖地に適します。

利 用

●暖地の秋まき

水田裏作用(早期利用又は早期田前作用)

●寒地の春まき

秋作物の前作用

各地で好評！

マンモスイタリアンのニュース

山形県……9月に水田の立毛中にバラ播し、稲の刈取後とイタリアンの刈取毎の追肥により、7トン以上の青草を生産。

愛知県……9月下旬水田裏作に赤クローバと混播し、6月の田植までに多収かくをあげた。とくに追肥の効果が著しい。

岡山県……9月中下旬水田の中播として3.5キロバラ播し、11月下～6月中旬まで、実に20トン生産。これは多肥栽培と牛尿の効果も大きかった。

熊本県……8月下旬～9月上旬に早期稲跡に播種し、11月中～5月にかけて、普通種に比べ40～50%の増収を得た。



マンモスイタリアンAは越夏永続性良く、長期にわたり青草生産します。写真は真夏の生育状況で、繁茂しているのがマンモスイタリアンAです。

雪ぐされとマンモスイタリアンA(水銀剤不要のイタリアン)
水銀剤の販売禁止で、イタリアンの雪ぐされが各地で問題となっていますが、マンモスイタリアンAは雪ぐされに断然強く、水銀剤不要のイタリアンともいえます。

の品種と特性

オオバヒカリ

特性

農林省畜産試験場で育成した系統(那系4号)で晩生品種。

分けつはやや少ないが、葉茎大きく、再生力も強いので、長期利用に適します。

耐寒性強く、雪ぐされ病、斑点病にやや抵抗性を示し、寒地の春秋まきにも利用できます。

利用

●暖地の秋まき

水田裏作用、畑地の周年利用、永年草地への混播用

トットリ系

特性

農林省鳥取種畜牧場で育成した早生の系統です。

分けつは少ないが、茎太く、直立型で草丈は高く、倒伏しがたい。病気や寒さに弱いですが、晩秋と早春の伸長旺盛で、早期利用、とくに早春の乾草、サイレージ調製用に適します。(今秋は品薄です)

利用

●暖地の秋まき

水田裏作用(早期刈取用)

イタリアンライグラス コモン(普通種)

特性

イタリアンライグラスとして、通常多く出廻っている系統です。早生系に属し、生育早く、再生力も良好です。

多雪の寒地では越冬せず、又暖地の夏枯れ被害もうけるので、主に寒地の春まき、暖地の秋まきに早期利用として有利です。

利用

●暖地の秋まき

水田裏作用、草地への混播用

●寒地の春まき

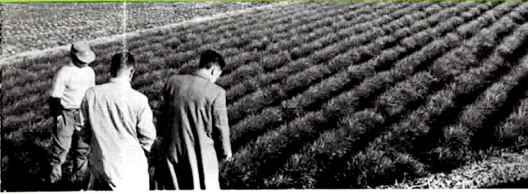
草地への混播又は追播用、秋作物の前作用

多面に活用できる

イタリアンライグラスの使いみち

田畑の裏作に

生育早く、再生力旺盛且つ耐湿性もあるので、裏作に欠かせない主要牧草。土地を高度に利用し、多肥による増収効果大。



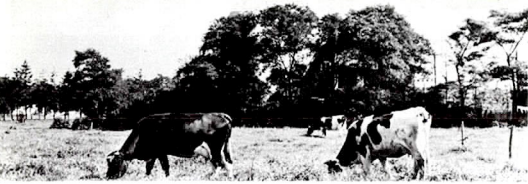
乾草に

茎が細く、やわらかいので、初夏1～2日の乾燥で良質の乾草が調製できます。



草地への混播に

草地の初期収量を上げるために他牧草と混播、または春に追播。(他牧草の生育をさまたげないよう播種量は10アール当り0.3キロ前後とします)



サイレージに

春～初夏の生育最盛期に余剰の青草を適期に刈取り、良質のサイレージに調製。夏～秋の優れた飼料となります。



米作転換には—
米作に匹敵する収益を
飼料作物であげよう!

マンモスイタリアンを組合せた 反収20トンの多収穫

〈関東地方以西の平地の例〉

(数量は10アール当り)

作物の組合せ	播種量 (キロ)	播種法 (センチ)	基 肥 (キロ)						追肥 (キロ)	栽 培 暦												生草重 (トン)	合 計 (トン)					
			堆肥	硫安	過石	燐	塩加	石灰		1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12							
スイートソルゴー	2	60×条播	3000	30	30	30	15	200	尿素30 塩加20						△	1	2	3								10	20	
マンモスイタリアンA	2.5	散播							(草地用尿素化成2号 120)	尿素30			3	4	5				△			1	2	○			10	
ハイ・スーダン	3	60×広巾 条播	3000	30	40	—	15	200	尿素30						△	1	2	3								10	20	
マンモスイタリアンA	2.5	散播							(草地用尿素化成2号 120)	尿素30			3	4	5				△			1	2	○			10	
家畜ビート(ハーフェロー)	1	60×条播 [株間30cm は開引]	3000	30	60	—	20	200	尿素15						△											11	20	
マンモスイタリアンA	2.5	散播							(草地用尿素化成2号 120)	尿素30			3						△			1	2	○			9	
ローズグラス	1.5	60×条播	3000	30	40	—	15	200	尿素30						△	1	2	3								10	20	
マンモスイタリアンA	2.5	散播							(草地用尿素化成2号 120)	尿素30			3	4	5				△			1	2	○			10	

△……播種期、——…生育期間、²……刈かく期(数字は刈回数)、○……追肥期。

放繫牧用のライグラス類



マンモスペレニアル

●ペレニアルライグラス

3～4年生。草質柔らかく、再生力も良く、しかも踏みつけにも強いので、放繫牧用には欠かせない主要牧草です。

●マンモスペレニアル

ペレニアルライの4倍体系統の中から選ばれた優良品種。葉茎大きく、分けつの多い多収種で、病害にも強く再生力旺盛のため、放繫牧地や採草地の生産を高めます。この系統にはレビーレがあり、放繫牧専用種として、ペトラと云う優良品種もあります。

●H・ワンライグラス

2～3年生。茎は細いが、草丈高くなり、分けつも多い。耐寒性にも優れ、寒地でも越冬します。再生力も良いので、採草、放繫牧兼用の永年混播草地に用いられ、又イタリアンライグラスの越冬できない多雪地帯で、イタリアンライグラスに準じて秋まき利用ができます。

各地におけるイタリアンライグラスの栽培例

(数量は10アール当り)

区	地帯	播種期	播種量	播種法	施 肥 量					収 か く		摘 要		
					基 肥					追 肥			利用時期	生産ステ ジ別収量
					堆肥	石 灰	化学肥料(成分量)			時 期	肥料と量			
キロ	キロ	窒素	リン酸	加里		キロ								
水田	東北地方 (岩手県の例)	9/上～ 9/下	3～4 キロ	立毛間 散 播	—	—	4	6	8	早 春	N…12～16 キロ	5/上～ 5/下	2回刈 2.5 4	
	北陸地方 (新潟県の例)	8/下～ 10/上	2 (3)	散 播	2,000	—	3	5	10	融雪後 1ヶ月後 (融雪後 1番刈後)	N…5 N…10 N…5 N…10 キロ	4/下～ 6/上	1～2回刈 5～6 1回刈 4	()内は立毛 中播種の場合
	東海地方 (愛知県の例)	9/上～ 10/上	2～3	散 播	4,000	100	7～ 10	15	7～ 10	年内刈取後 (又は越冬前) 3/上～ 刈取毎	各々 N…7～10 P ₂ O ₅ …10 K ₂ O…10	11/下～ 12/上 4/中～5/下	1.5～2.5 2回刈 4～7 2～3	11/下～12/上刈 取は早期栽培跡 地利用の場合
作	近畿地方 (兵庫県の例)	9/下～ 10/中	1.5～2	稲立毛中 散 播	—	150	—	—	—	稲刈取後 3/上～中 刈取毎	各々 N…20 P ₂ O ₅ …20 K ₂ O…5	11/下 4/上～ 6/下	3～4回刈 4～7	不耕起播、普通 水田あと
	畑	北陸地方	8/下～ 9/下	2	散 播	2,000	—	3	5	10	融雪後 又は刈取後	N…5 K ₂ O…5	10/下～11/中 4/下～6/下	1～2回刈 3 3～4回刈10
関東地方		9/上～ 11/上	1～2	散播又は 45～60×条播	2,000	80	10	12	12	刈取後	N…4	11/上～12/下 4/上～6/中	6～8	水田裏作は早生 稲跡を利用
東海・近畿 地方 (愛知県の例)		9/上～ 11/中	散…2 条 1.5	散播又は 18×条播	3,000	150	10	15	15	刈取後	N…20 K ₂ O…20	11/下～12/中 3/下～6	3～4回刈 6～10	
九州地方 (宮崎県の例)	8/下～ 11/中	早まき1.5 遅まき3.0	散 播	1,200 ～1,500	100 ～120	10	10 ～20	10 ～20	11/中2/中 刈取毎	各々 N…5	11/中～5/下	4～5回刈 5～6		

(N…窒素、P₂O₅…リン酸、K₂O…加里)